会長		担当理事		会計	

埼医医事第 2150 号
令和 4 年 2 月 15 日

郡市医師会長　殿

埼玉県医師会長　金井　忠男

医療安全に係る啓発チラシの配布について（依頼）

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、注射等の穿刺行為に伴う合併症により、患者様から医療機関に対する賠償請求されるケースが多く報告されております。

そこで、事前に患者様にご理解をいただけるようチラシ(参考例)を作成いたしましたので、貴会管下会員あて周知について、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、チラシについては埼玉県医師会ホームページ(会員向け情報／医事相談)に掲載致しますので、ダウンロードしてご活用ください。本チラシは各医療機関の状況に応じてご利用しやすいよう加筆訂正等していただき、ご自由にお使いください。

担当　埼玉県医師会医事・福祉課　富岡
電話　０４８－８２４－２６１１

越谷八潮医師会 収受 4.2.17 第1236号

～採血前にお伝えしたい事～

◎採血前にご確認ください

・あざ、皮下血腫などの予防には注射箇所を揉まず、十分な圧迫止血をお願いします。

・出血しやすい方や血液がサラサラになる薬を内服している方はお申し出下さい。

・注射で気分が悪くなりやすい方は、お申し出ください。

・強い緊張や不安からおこる迷走神経反応により急な血圧低下、めまい、気分不快、意識消失などが起きる事があります。

・アレルギー（消毒用のアルコールや手袋に付いている粉（ラテックス）等）のある方はお申し出ください。

◎採血後の痛みやしびれについて

・採血時に偶然、神経を傷つけてしまうことがありますが、多くは１週間以内に、大部分は３か月以内で改善します。

〇〇〇〇医院　院長

～医療の針刺しに伴う合併症について～

現在の医療では、血管に針を刺して血液検査を行ったり、注射をしたりと毎日多くの針刺しが行われています。これは健康管理や治療に必要な医療行為ですが、ごくまれに合併症（健康被害）が起こると言われています。
私たち、医療スタッフは十分気をつけながら処置をしていますが、それでも合併症が起こってしまった場合には最善の対処を致しますので、どうぞ安心して処置を受けてください。

◎出血、内出血、皮下血腫

→　しっかりと穿刺部位を圧迫し、押さえる事で防げます。

◎アルコール消毒によるかぶれ

→　アルコールに過敏な方はあらかじめお申し出ください。

◎過度の緊張による迷走神経反射

→　めまい・気分不良・気が遠くなるなど、無意識に強く緊張する事で採血前に起こる人もいます。
過去にこの様な症状を経験した事がある方は、事前にお申し出ください。

◎手や指のしびれ

→　約１万～10万回に１回程度の頻度で起こるとされていますが、多くは１週間以内、ほとんどは３ヶ月以内に改善します。

〇〇〇〇医院　院長